

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～22	日 本 史	24～37	世 界 史	38～51
地 理	52～65	数 学	66～68		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。なお、以下の注意事項も参照すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

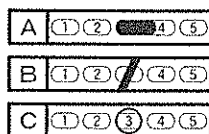
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

国を統治するためには、国の体制となる仕組みづくりが必要になる。中国では、の制度を引き継いで、唐の時代に律令国家体制という仕組みが整えられた。これは周辺諸国に多大な影響を及ぼした。

唐による政治の仕組みは、中央における官制として三省・六部・を設け、地方にをしいたものであった。三省は中央政府の最高機関として位置づけられた。三省のうち、中書省は皇帝の詔勅などの立案起草を行う機関であり、門下省は詔勅や奏文を審議する機関であり、修正や拒否の権限も有していた。また、は、六部を管轄して詔勅を実施する政務行政機関であった。そして、官吏の監察機関としてのが機能していた。

また唐では、財政と軍事力の確保と充実のために、農民を直接支配することが統治の根底にあった。そのための仕組みとして、成年男子に土地を均等に支給する、穀物や絹布などの税や力役を負担させるが整えられた。加えて、により、兵役の義務を負わせていた。

このようにして、農民を直接支配することを国の統治の根底として仕組みづくりを行ったものの、規定通りの土地配分は難しく、その一方で貴族・官僚・寺観などが所有していた荘園がたくさんあり、そこで農民を小作人として雇い、農耕作業をさせていたのが実情であった。

唐の第二代皇帝のは有能な臣下の補佐を得て唐朝の基礎を固め、国力を充実させた。その治世は「の治」としてたたえられている。第三代皇帝ののときには、百済・高句麗を滅ぼし、さらに西突厥やヴェトナム方面を攻撃して唐の最大領域を獲得することとなった。

の死後、その皇后であったが国号をと称して、中国史上唯一の女帝となるなどの混乱が生じたが、第六代皇帝については、国を引き締めるために、一方では賢臣を用いて内政を整えるのと

同時に、他方では周辺異民族への防備のために国境地域に軍団を配備した。このような努力が実り、「の治」と呼ばれる安定期がもたらされた。

しかし、口分田の不足、農民の貧困化、荘園の拡大といった社会矛盾は深刻さを増しており、貧しい農民のなかには土地を捨てて逃亡する者が相次ぎ、は実質的に機能しなくなっていた。

このような事情から、徴兵によるも大きく崩れていた。そこで、軍事面での立て直し策として代わりに採用されたのが、傭兵によるである。そして、彼ら傭兵の指揮官にあたる節度使が、辺境の地の防備をするようになった。財政面での立て直し策としては、実際に所有している土地に応じて夏と秋の2回ほど徴税する兩税法を施行した。また、塩を専売することによる財源の確保にも努めた。

しかしながら、9世紀の後半には、山東の塩の密売人のおこした反乱が、華中から華南にまでも及ぶ農民の大反乱となり、唐の国としての権威は完全に失われた。そして、907年に唐は滅亡し、五代十国の時代を迎えることになるのである。

問1 空欄 に当てはまる最も適切な国名をア～コのうちからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ア 後漢 | イ 東晋 | ウ 後梁 | エ 西魏 | オ 後唐 |
| カ 北魏 | キ 吳 | ク 周 | ケ 殷 | コ 隋 |

問2 空欄 ～ に当てはまる最も適切な制度名をア～コのうちからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| ア 郡県制 | イ 募兵制 | ウ 井田制 | エ 均田制 | オ 府兵制 |
| カ 州県制 | キ 屯田制 | ク 三長制 | ケ 郡国制 | コ 租庸調制 |

問3 空欄 ～ に当てはまる最も適切な人名をア～コのうちからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|------|------|------|-------|--------|
| ア 高祖 | イ 高宗 | ウ 太宗 | エ 西太后 | オ 韋后 |
| カ 武帝 | キ 煬帝 | ク 玄宗 | ケ 太祖 | コ 則天武后 |

問4 空欄 について、この機関を何というか。漢字3字で解答欄に記入せよ。

問5 空欄 について、この機関を何というか。漢字3字で解答欄に記入せよ。

問6 空欄 について、この治世を何というか。空欄に入るように漢字2字で解答欄に記入せよ。

問7 空欄 について、この治世を何というか。空欄に入るように漢字2字で解答欄に記入せよ。

問8 下線部(a)について、唐の周辺諸国の一つである渤海国に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから全て選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 10世紀に中原を侵略した。

イ 「海東の盛国」と言われた。

ウ 大祚榮が宰相として実権を握った。

エ 長安を手本にして上京竜泉府を建設した。

オ 靺鞨人と高句麗の遺民を中心とする国であった。

問9 下線部(b)の六部に関する以下の説明文における空欄①～⑥に当てはまる最も適切な機関名をア～ソのうちからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

六部とは、官吏の任用にあたる ①，戸籍や財政事務を担当する ②，祭祀・教育事務を担当する ③，軍事を担当する ④，司法を担当する ⑤，土木事務を担当する ⑥ である。

ア 土部	イ 刑部	ウ 教部	エ 吏部	オ 工部
カ 戸部	キ 科部	ク 兵部	ケ 官部	コ 司部
サ 財部	シ 祭部	ス 軍部	セ 木部	ソ 礼部

問10 下線部(c)について、節度使の安祿山とその部将である史思明による安史の乱を鎮圧するために、唐に援軍を送った異民族は何か。ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

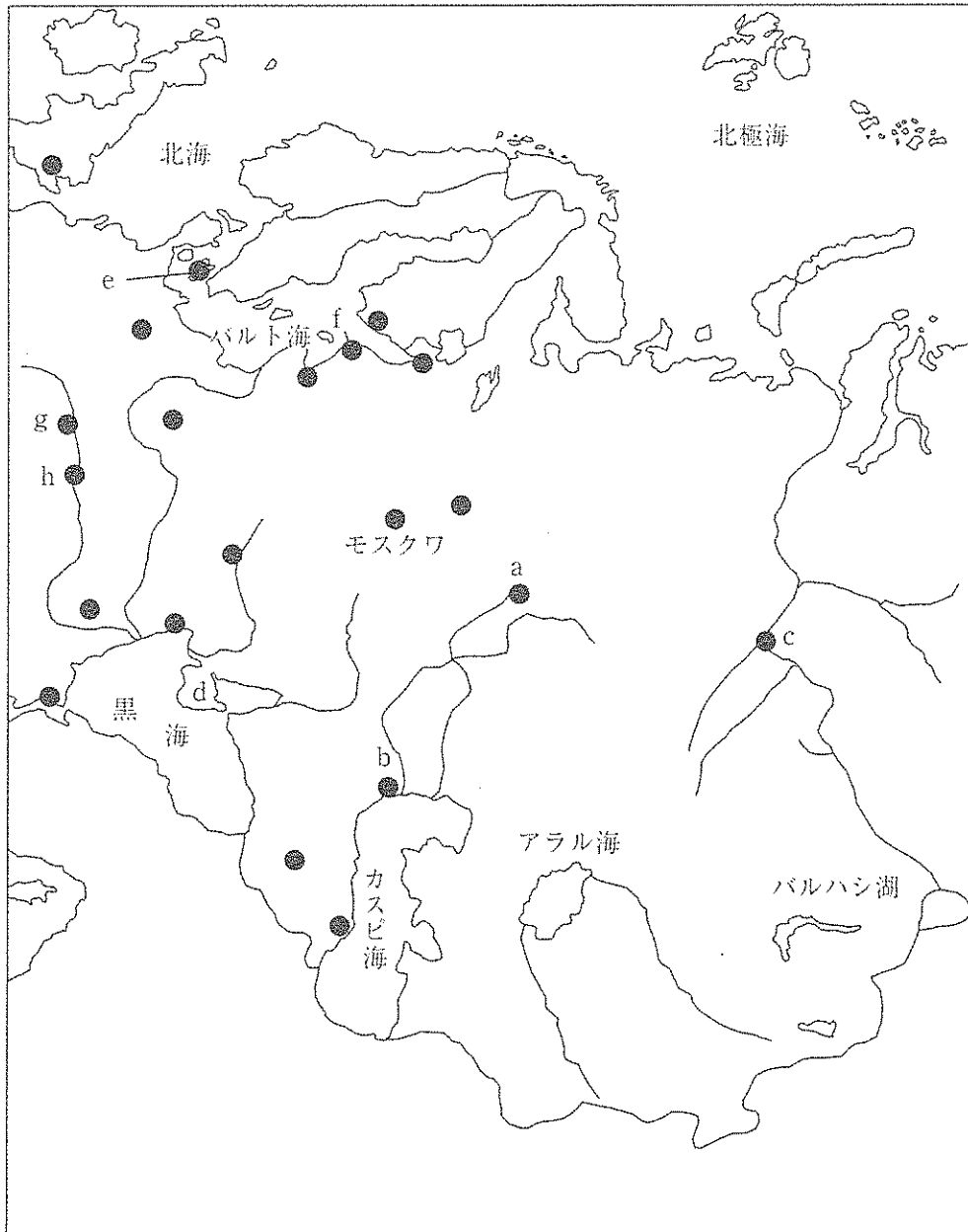
ア 東突厥	イ 吐蕃	ウ ウイグル
エ 柔然	オ 鮮卑	

問11 下線部(d)について、この反乱として最も適切なものをア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 黄巾の乱	イ 陳勝・呉広の乱	ウ 呉楚七国の乱
エ 赤眉の乱	オ 黄巢の乱	

〔Ⅱ〕 次は、一部を省略した19世紀末ロシア帝国西部及びそれを取り巻く諸国の略地図である。これを参照し、以下の文を読んで問いに答えよ。

19世紀末ロシア帝国地図



●都市 a～hの記号は都市名，地名を表す

内陸に発して15世紀に勢力をつけたモスクワ大公国は、16世紀に膨張を始めた。東へは、モンゴル勢力の末裔が支配する都市 a を攻略し、さらにヴォルガ川を下って都市 b を征服した。これによりヴォルガ流域はモスクワ大公国の支配するところとなった。またコサック領首は、ウラル山脈を越えて都市 c を中心にした同じくモンゴル末裔の国家を征服した。この後ロシアの勢力は半世紀ほどかけて太平洋岸に達した。

これに比べて西への拡大は順調ではなく、一時はバルト海に達したものの、沿岸諸国がその進出を阻んだ。この遠征失敗でモスクワ大公国は国力を衰退させ、王朝は終わりを告げることとなる。その後モスクワでロマノフ朝が成立し、ポーランド、スウェーデンに対抗しながら18世紀にバルト海南岸、東岸を併合した。しかし、フィンランド併合が為されたのはようやく19世紀初めなのでロシアの西方拡大は多くの年月を要した。この間に中世以来東欧で大きな位置を占め、ロシアを圧していたポーランドは、スウェーデンの侵攻で勢力を弱めていき、18世紀末に独立国家の地位を失っていた。

西方拡大を難しくした一つの原因は、黒海の半島 d にあった勢力の存在であった。ここにあった勢力は、二度にわたり北上してモスクワ攻撃を試みた。この国家の背後にはロシアの南方拡大の大きな障壁であるオスマン＝トルコが控えていた。このためにロシアは、北方のスウェーデンに対抗するとともにオスマン＝トルコとの戦いも進めた。度重なる戦争の中でも重要な成果をもたらしたのは、1768年から始まった戦争で、勝利によりロシアは半島 d にあった国家をオスマン＝トルコから独立させ、黒海北岸の事実上の支配権を得た。この後ロシアは、黒海東岸のカフカス地域への進出を進めた。

問1 下線部(A)について、以下の問いに答えよ。

- ① 15世紀にロシアをモンゴル支配から独立させた君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② 15世紀にモスクワ大公国に征服されたが、もともとのロシアの始まりとされる国家を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- 問2 下線部(イ)の都市 a を語群 B から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問3 下線部(ウ)のコサック領袖とは誰か。語群 A から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問4 下線部(エ)について、シベリアの語源になったとされるこの国家の名称を語群 B から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問5 下線部(オ)について、バルト海を取り巻く諸国でロシアの進出を押しとどめた勢力の一つは、都市 e を首都とする国家である。この都市の名称を語群 B から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問6 下線部(カ)について、以下の問いに答えよ。
- ① 18世紀にバルト南岸、東岸の併合を承認した条約の締結地を語群 B から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
 - ② これを達成した君主は誰か。語群 A から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
 - ③ 併合により都市 f はロシア領となった。この地域は、この後長くロシア帝国に留まったが、1917年10月のロシア革命後に独立を果たした。その国家名を語群 B から選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問7 下線部(キ)について、併合時のロシアの君主は誰か。語群 A から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問8 下線部ク)について、以下の問いに答えよ。

- ① ポーランド分割は3次にわたって行われたが、第1次分割を行ったプロイセン君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② 同じく第1次分割に参加したオーストリア君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ 3次の分割すべてに参加したロシアの君主は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問9 下線部ケ)の半島dにあった国家名を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問10 下線部コ)のスウェーデンは、当初ロシアとの戦いで有利に立ったものの、ポルタヴァの戦いで敗北して形勢逆転を許した。この時のスウェーデン国王は誰か。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問11 下線部カ)について、以下の問いに答えよ。

- ① オスマン＝トルコは、17世紀には都市gを包囲し、ヨーロッパ中心部に迫った。この都市を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② 都市gの包囲は、ロシアを含む諸国の対抗で失敗し、オスマン＝トルコは後退した。この時締結された条約名を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ③ 前問②の条約の結果、都市hの支配権は移行した。この都市名を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問12 下線部②について、以下の問いに答えよ。

- ① この戦争を遂行したロシア側の君主は誰か、語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ② この戦争を終結させた条約名を語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

語群A(一度の使用とは限らない)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 アレクサンドル1世 | 2 アンナ |
| 3 イヴァン3世 | 4 イヴァン4世 |
| 5 イェルマーク | 6 ヴィルヘルム1世 |
| 7 ヴィルヘルム2世 | 8 エカチェリーナ2世 |
| 9 エリザヴェータ | 10 カール12世 |
| 11 カール6世 | 12 ビスマルク |
| 13 ピョートル1世 | 14 ピョートル3世 |
| 15 フェルナンド | 16 フランツ=ヨゼフ |
| 17 フリードリヒ=ヴィルヘルム1世 | 18 フリードリヒ1世 |
| 19 フリードリヒ2世 | 20 マリア=テレジア |

語群B(「条約」「国」の語句は削除してある)

- | | | |
|------------|---------------|-----------|
| 1 アストラハン | 2 ウィーン | 3 エストニア |
| 4 カザン | 5 カルロヴィッツ | 6 キエフ |
| 7 キプチャク=ハン | 8 キュチュク=カイナルジ | |
| 9 クリム=ハン | 10 コペンハーゲン | 11 シビル=ハン |
| 12 ストックホルム | 13 チャガタイ=ハン | 14 トボリスク |
| 15 ニスタット | 16 ノヴゴロド | 17 パリ |
| 18 ハリコフ | 19 ブダペスト | 20 プラハ |
| 21 ベテルブルグ | 22 ベルリン | 23 ラトヴィア |
| 24 リトアニア | 25 ワルシャワ | |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

大事な時に眠気にとらわれたり、モヤモヤして集中できなかつたりしたことはないだろうか。その解消のために、人々はカフェインによる「覚醒作用」を利用してきた。このカフェインの摂取は、人類の歴史において極めて大きな意味を持っている。

おそらく世界で最も普及しているカフェイン摂取源は茶である。茶は中国の雲南省に自生していた植物であるが、前1世紀半ばには長江上流域にあたる四川地方の成都周辺⁽¹⁾で茶の売買が行われている。3世紀には長江下流域でも飲まれており、その頃の書物にはすでに茶の覚醒作用の記述が見られる。8世紀半ば、禪の修行に取り入れられたことをきっかけに茶は全国化し、やがて世界へと広がっていった。ヨーロッパで最大の茶の消費国はイギリスであるが、イギリスに喫茶を根付かせたのは1662年にイギリス国王に嫁いだキャサリン⁽²⁾である。彼女は持参金代わりにボンベイの支配権をイギリスにもたらしたことで有名だが、彼女が宮廷でティー・パーティーを盛んに催したことが、イギリスの上流階級の間で茶の流行を引き起こしたのである。喫茶はやがて労働者階級にも広がり、茶の輸入量は爆発的に増加した。これにより生じた中国との間の貿易の不均衡は1840年にアヘン戦争を引き起こすことになる。一方、1820年代にアッサム⁽³⁾地方で茶の自生種が発見されてから、イギリスはインドでの紅茶生産を本格化させ、1888年にはインドからの輸入量が中国からの輸入量を上回っている。

ヨーロッパにおいて茶よりも先に移入されたカフェイン摂取源がカカオとコーヒーである。カカオの最初の栽培者にしてチョコレート飲料の発明者はオルメカ族であったと考えられている。それがマヤ族を経由してアステカ族⁽⁴⁾に引き継がれた。最初にチョコレートを飲んだヨーロッパ人はコルテスだと言われている。彼はスペイン国王にあてた手紙の中でその味を絶賛しており、のちに国王のための⁽⁵⁾カカオ農園を造っている。スペイン国王はチョコレートに砂糖を加えて愛飲し、これがスペインの上流階級の中でも流行し、17世紀にはヨーロッパ各国に広がった。

一方、コーヒーはアラブ世界からヨーロッパに伝わった。コーヒーの木の自生

地はマダガスカルからエチオピアに及ぶが、いづどこでコーヒーが飲料とされたのかは不明である。コーヒーと思われるものの最古の記録は、10世紀のアラブの医学書に見える「ブンチュム」という植物についての記述であるが、11世紀初頭の『医学典範』にもその記述が見られる。15世紀半ばには、イエメンでスーフィーが^(A)夜通し行われる儀式の際に眠気覚ましとしてコーヒー(カフワ)を飲んでいたことが知られているが、これが飲料としてのコーヒーの確実な最古の記録と考えられている。このスーフィーの集会からコーヒーハウスが生まれ、アルコールを禁止されているイスラーム教徒の間でコーヒーは瞬く間に広まった。^(B)16世紀前半にはメッカやカイロでも一般に飲まれている。17世紀初頭、ヨーロッパ人旅行者によってアラブでのコーヒーの popularity が紹介されると、17世紀半ばには西ヨーロッパの各地にコーヒーハウスが出現している。当初よりコーヒーの薬効を説く医学者は少なくなく、またコーヒーハウスは情報交換や言論の場として重要な役割を果たしていたが、一方でコーヒーやコーヒーハウスへの偏見も小さくはなかった。たとえば、先述のキャサリンが嫁いだ相手であるイギリス国王は^(B)コーヒーハウスを禁止する勅令を1675年末に出している。しかし社会からの反発は大きく、わずか11日間でこの勅令は取り消されている。しかしこの後、イギリスのカフェイン摂取源の主役は茶に移っていく。現在もイギリスのカフェイン消費の3分の2以上が茶によっている。これに対し、アメリカ合衆国はカフェイン消費の半分をコーヒーによっている。アメリカが茶ではなくコーヒーを嗜好する社会になったのは、1773年の茶法への反発のためとしばしば言われるが、実際にコーヒーが優勢になるのは^(C)19世紀半ばのことであり、コーヒーへの関税の廃止とイギリスからの移民の減少によるところが大きいと考えられている。

アメリカのコーヒーへの依存度は高いが、真に「アメリカを代表する」と言えるカフェイン飲料はコーヒーではなく、コーラである。コーラは、「インカの聖なる木」^(C)と言われたコカノキから抽出される「コカ」と西アフリカで興奮剤に用いられるコーラノキの種子から抽出される「コーラ」をソーダ水に入れたもので(20世紀初頭からコカインの成分は取り除かれている)、1886年にアトランタの薬剤師によって発明された。当初は医薬品として販売されていたが、巧みな販売戦略も功を奏し、10年後にはコカ・コーラは金米に行き渡り、アメリカの「国民的な飲

み物]の地位を築いていった。第二次世界大戦にアメリカが参戦すると、コカ・コーラは軍需品として世界各地の駐屯地に送り出された。コカ・コーラはアメリカ軍とともにグローバルな飲料、ブランドとなっていたのである。戦後もコカ・コーラの世界進出は続いたが、特にコカ・コーラが熱心に進出を図ったのが、アルコール飲料が禁止され、気温の高いアラブの市場である。しかしアラブ重視の姿勢はイスラエルとユダヤ人社会からの反発を受けたため、1966年にコカ・コーラはテル・アビブの瓶詰め工場をフランチャイズ化することとした。これに対しアラブ諸国連盟はコカ・コーラのボイコットを呼びかけた。コカ・コーラはユダヤ人社会に配慮してアラブ市場から撤退し、これ以後、アラブ世界ではペプシ・コーラの優勢が続いている。

問1 下線部(1)について、四川地方の伝統的な呼称として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 齊 イ 越 ウ 趙 エ 蜀 オ 楚

問2 下線部(2)について、キャサリン王妃の出身国として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア オランダ イ スペイン ウ ポルトガル
エ フランス オ ベルギー

問3 下線部(3)について、この地に進出してイギリスとの戦争を始め、のちにイギリスに敗れて滅亡した王朝として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アユタヤ朝 イ コンバウン朝 ウ トゥングー朝
エ バガン朝 オ ラタナコーシン朝

問4 下線部(4)について、アステカ族に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア マヤ文明を滅ぼした。 イ テノチティトランを都とした。
ウ キープにより税の計算をした。 エ 最も強力な武器は馬車だった。
オ アンデス山脈一帯で活動した。

問5 下線部(5)について、この書物はヨーロッパでも読まれたが、作者のラテン語名として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号をマークせよ。

- ア イブン=シーナー イ イブン=ルシュド ウ フィルドウシー
エ アヴェロエス オ アヴィケンナ

問6 下線部(6)について、この頃、カイロとメッカはオスマン朝の支配下に入ったが、それを成し遂げたオスマン朝のスルタンとして正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号をマークせよ。

- ア イスマーイール1世 イ セリム1世 ウ アフメト3世
エ メフメト2世 オ アブデュル=メジト1世

問7 下線部(7)について、茶法に関する記述として正しくないものを、ア～オのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 茶の価格が高騰することへの危惧から、アメリカ植民地の人々は茶法に反対した。
イ アメリカ植民地におけるイギリス東インド会社の茶の独占販売を事実上認めるものであった。
ウ イギリス東インド会社がアメリカ植民地に輸出する茶への税を免除するものであった。
エ 茶法への反発はボストン茶会事件を引き起こし、イギリスはボストン港封鎖という対抗措置をとった。
オ 茶法への反発があったにも関わらず、続けて砂糖法が成立した。

